

決算審査特別 委員会報告

平成20年度決算の認定議案（認定第1号から第8号）が市長から議会に提案されました。議会では、20名全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月4日、7日及び8日の3日間で審査を行いました。主な審査内容を一部報告します。

市税の還付金について

問…他の自治体では法人住民税の還付がかなりの額になっているが、本市の状況について。

答…20年度の法人市民税の還付は984万3千円だった。21年度はさらに増える見込み。

環境衛生費について

問…事業の内容及び予算の充足について。

答…各行政区等で下水路路浚渫をした際の汚泥等の運搬費用として165万2千円、機械による浚渫費用の2分の1の補助として16万円となっており、予算残が若干あるため、基本的に予算は足りていると考えている。

生活指導（ホームヘルプ）事業について

問…週1回で90分を限度に派遣となっているが、これに要介護状態への進行を予防できるか。

答…本人と一緒に食事を作ったり、お話ししながら頭や体を動かすことを目的にしており、介護サービスとは中身が違っており、90分以内で出来ることを工夫して行っている。

国民健康保険の赤字解消策について

問…ジェネリック医薬品の普及について。

答…ジェネリック医薬品の利用は医療費の削減になると考えており、医療費通知書の裏面にジェネリック医薬品の説明を記載して利用促進の啓発をしている。また、来年度の保険証送付時に啓発資料とジェネリック医薬品希望カードを同封する予定。

市営住宅について

問…市営住宅の入居待ちはどれくらいあるか。

答…20年度申し込みは33世帯で、その内6世帯が入居し、入居率18パーセント。21年度8月末

現在41世帯の申し込みで3世帯が入居。現在、空き家はない。問…家賃滞納の対策にどう取り組んでいるのか。

答…滞納2カ月で文書による督促、3、4カ月になれば再度督促、また年4回程度の家庭訪問による滞納整理を行い、それでも滞る人には返済計画書の提出を求めている。

大原地区排水路整備事業について

問…今後の事業の状況について。
答…20年度、21年度の継続事業としてマルキョウ南側の117メートルを竣工している。21年度から23年度で自衛隊南側までの284メートルを含め事業を完成させる予定。



▲大原地区排水路工事

下水道事業について

問…下水道管が、自宅前に来

ているのに接続していない事例はどのくらいあるのか。

答…現在の水洗化率は85・45パーセントで、残り14・55パーセントが下水道管は来ているが、未接続になっている。

就学援助費について

問…就学援助の申請者が増えている。申請から漏れた人の対応は。

答…20年5月時点で、小学校は申請が473人、認定405人。中学校は申請が222人、認定194人だった。再申請され、校長の意見が付され上がった分は所得調査して決定している。

学校給食について

問…給食センターと自校式給食の経費について。

答…運営費は以前と大差ないが、人件費のウエートが大きいが、自校式給食の方が給食センターより児童1人当たりの単価が高くなっている。

新アンビシャス広場づくり事業について

問…3つある広場に各100万円を補助しているが、その使途について。

答…小郡いきいきアンビシャス広場はガブリ祭、通学台宿、月夜のお話し会など、宝城いきいきアンビシャス広場はパン作り、スイートポテト作り、凌雲劇など、のぞみいきいきアンビシャス広場は学校キャンプ、調理体験、星の観察などのイベント費用に使っており、また、各広場ともチューター制や見守りの際の謝金にも使っている。

建設工事の入札状況について

問…落札率など入札動向についてどう評価しているのか。

答…20年度の入札件数は65件で、その内落札率95パーセント以上が16件、80パーセント以下が19件となっており、20年度に条件付き一般競争入札の範囲を1千万円まで広げた結果、最低制限価格での応札が一段と多くなったといえる。



▲ガブリ祭(小郡いきいきアンビシャス)